



青少年育成市民会議



いわき市青少年育成市民会議において、地区ごとに行っている青少年の健全育成に関する活動の一部を紹介します。

～生かそう、きずな。未来のために！～

勿来地区推進協議会

年末行事を楽しもう

常磐地区推進協議会

錦支部では、新型コロナウイルス感染防止のため主催行事を中止していましたので、公民館主催の土曜学習に協力し、地域の子どもたちへの体験の機会の提供を行いました。
十二月十九日（土）開催の土曜学習「地域のみなさんと年末行事を楽しもう」では、午前はダンボール工作で楽しいおもちゃ作りをし、お昼は餅つきをして、つきたてのお餅でお雑煮とお汁粉をいただきました。午後は、大きな松ぼっくりを使ってのツリー作りをして一日中子どもたちの楽しい笑顔に囲まれて過ごしました。

今後も子どもたちが伝統文化に触れる活動を行っていきたいと思いま
藤原支部では、平成十四年から月一回、おはよう坂で「朝のあいさつ愛の一聲運動」を実施しています。
また、平成二十三年六月からは、子どもの絆をさらに深めようとハイタッチも行っています。（今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止）
これらの活動は、常磐地区内では、藤原から発信され、常磐・遠野管内で実施されるようになりました。

子どもと大人、地域の人たちが笑顔でありきつを交わす光景が今後さらに増し、誰もが自然にあいさつを交わせるよう、学校と連携し活動を広げていきたいと思います。

内郷地区推進協議会

朝のあいさつ愛の一聲運動



事務局 勿来公民館



事務局 常磐公民館



令和二年度高坂支部の行事は、天候と新型コロナウイルス感染症に煩わされました。
九月の子ども神輿は、コロナのため中止になり、ペタンク大会は雨で中止になりました。
唯一、「健全育成を推進する標語」募集は高坂小学校、内郷第一中学校の教師・生徒たちのご協力を得て、高坂小学校二百二十件・内郷第一中学校三百八十八件、合計六百八件の過去最高の応募がありました。
反映していました。

健全育成を推進する標語



事務局 四倉公民館

クラフト体験教室

四倉地区推進協議会

コロナ禍で、ほとんどの行事が中止となり、唯一子どもたちが参加できたのが、クラフトテープを使った季節の小物づくり体験教室でした。小学生を対象に、低学年児童は保護者同伴で、また、三密を回避するため、二回に分けて行いました。十月二十四日(土)はハロウイン用カボチャのランタン、十一月十四日(土)はクリスマス用コースターを作りました。参加者は総勢三十二人で、講師の先生の指導を受けながら、自分なりにアレンジする子や、保護者と共同制作する子など、マイ小物作りの楽しいひとときを過ごしました。



事務局 上遠野公民館

現況報告

遠野地区推進協議会

コロナ禍で、地区総会を始め年間事業計画のほとんどが中止となり、満足な報告ができず残念です。九月の「地区市民力口ーリング大会」、十一月の「地区文化祭」、そして、ジユニアリーダーを中心とした二ユースボーツ体験(わくわくオリエンピック)もやむなく中止となりました。主催行事は、「ジユニアリーダー学級」と共催で「書き初め練習会」を開催しましたが、この学級では他に『ヨガ・ヒップホップダンス体験』や『エコクラフトで小物作り』等も実施しています。

本協議会では、地域の子どもたちが地域住民との心温まるふれあいを通して、明るく健やかに成長することを願い、公民館、学校、地域が連携し、毎月二十日(年六回程度)小中学校門や小川郷駅前において、「朝のあいさつ運動」を毎年継続して行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が休校となつた期間があつたことなどから、四月と五月の実施を見合させ、七月から実施しました。

地域住民と子どもたちとのふれあいが少なかつた中で、本事業はとても貴重な機会であつたと思います。



事務局 小川公民館

朝のあいさつ運動

小川地区推進協議会

本協議会では、同会員延べ九人が、十一月四日(水)から六日(金)までの三日間にわたり、好間中学校の正門と西門において朝のあいさつ運動を実施しました。先生方や地域の方々が、登校する生徒と顔を合わせて声を掛け合うことで、青少年健全育成の意識の醸成を図っています。

実施期間中は、十一月としては肌寒い日でしたが、生徒は皆マスク姿で元気に登校していました。一日でも早く、新型コロナウイルス感染症が終息することを願っています。

がんばれ好間！がんばれ子どもたち！



事務局 好間公民館

愛の一聲運動を実施

好間地区推進協議会

先端技術体験学習



事務局 三和公民館

十一月十八日(水)に三和小学校六年生十二人が、ドローンをはじめとした先端技術の研究開発、実証実験の事業拠点である「ながとイノベーションセンター」を体験学習のため訪問しました。ドローンについての基礎知識を学んだ後、実際にドローンの操縦体験やパソコンでのプログラミングによる自動操縦体験をしました。

時間の経過とともに思い通りに操縦できるようになると、歓声や拍手が起きました。

子どもたちは、先端技術のすごさや素晴らしさを体験し、目を輝かせていました。

地域交流会



事務局 田人公民館

本協議会では、十一月十七日(火)、田人公民館及び地区社会福祉協議会との共催事業「地域交流会」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの実施となりました。

地域の特産物を学ぶ五・六年生は、収穫した自然薯(じねんじよ)で、自然薯汁とカレーを地域の方のご指導のもと手際よく作りました。

その他の学年は、地域の語り部さんによる「田人のはなし」を、昔使われていた田人の言葉で聞くことができました。

カブトムシを育ててみよう(幼虫編)



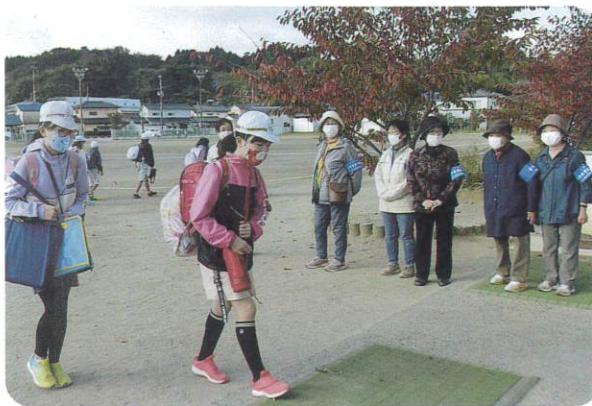
事務局 川前公民館

本協議会では、十月十日(土)、川前公民館及び川前地区推進協議会との共催事業「カブトムシを育ててみよう(幼虫編)」を開催しました。当団は、地区小学校の一年生から六年生までの児童十三人と保護者ら九人が参加しました。

講座の内容は、公民館長が指導し、幼虫を育てるための土作りを上手に行うことなどについて実演説明の後、各自持ち寄った飼育ケースに幼虫を振り分け、家に持ち帰りました。

子どもたちの夏の人気者カブトムシが立派な成虫になるためには、秋冬の幼虫の育て方が大切です。川前産の幼虫が、来年の夏、立派な成虫になるのが楽しみです。

あいさつ運動



事務局 久之浜公民館

本協議会では、十一月二日(月)久之浜第一小学校の東側昇降口前にて、朝の「あいさつ運動」を行いました。初めてのあいさつ運動です。

地域の顔見知りの方々が並んでいました。今年度は、各種行事ができませんでした。来年度は、回数を重ねて、地域でもあいさつを交わすことができればと思っています。

朝のエールで元気を!!

昨年度の令和元年東日本台風で、平窪支部の中・下平窪地区の多くの家が水没し、全壊・半壊となりました。が、行政区と住民が一体となり、復興を目指しています。しかし、コロナ禍では、何事にも三密などの制約が課せられ、子どもたちは伸び伸びと活動できないのが現状です。平第四小学校では、種々の工夫を凝らして、各行事を進めていますが、平窪支部青少年育成会でも、平第四小学校・通学見守り隊と連携し、保護者や各団体（輪番制）が朝の通学見守り時、児童たちに「大きな声」でのあいさつを交わして、勇気と元気の「エール」を送っています。



事務局 中央公民館

事務局 小名浜公民館

絵手紙コンクール

本協議会では、今年度は様々な事業が中止となりました。フルーツアート、小学生ジュニアオセロ大会など、子どもたちに大人気の事業を開催しましたが、とても残念でなりません。ただ、三密を避けた事業として、江名支部では第十四回絵手紙コンクールを実施し、子どもたちが応募してきた色とりどりの絵手紙を掲載してきました。ポスター制作を行つて、地区内の公民館に掲示するなど、青少年活動を行うことができました。

来年度は安全安心を最優先に、よりパワーアップした青少年活動を行つていきたいと考えています。



小名浜地区推進協議会

市民会議総会・表彰

第十三回いわき市
青少年育成大会

青少年育成大会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面にて開催し、今年度の努力目標や事業計画等を決定しました。

また、毎年実施している市民会議表彰について、は、令和三年度以降に実施することとなりまし

**福島県青少年育成条例
に基づく知事表彰**

医療創生大学教授の中尾剛さんに「青少年を取り巻くインター ネットトラブルの現状と対策について」情報モラル教育で子供たちを守る」と題し記念講演をしていただきま

市民会議では、子どもたちとその保護者に対する啓発を目的に、「いわきメディア指導員」を養成し、講習会等に派遣しています。子どもたち有害情報や犯罪被害から守るために、どうぞご活用ください。

【お問い合わせ先】
生涯学習課青少年係
電話 一二一七五五八

【福島県青少年育成

○青少年指導者

○青少年指導者

四

め、どうぞご活用ください

子どもたちを有害情報や犯罪被害から守るために、どうぞ活用ください。

いわきメディア
指導員事業